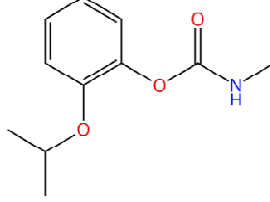


化学物質管理のための濃度基準値及び測定方法

No.2024_114-26-1

物質名 (CAS)	N-メチルカルバミン酸2-イソプロピルオキシフェニル (別名プロポキスル) (114-26-1)			
濃度基準値	八時間濃度基準値	0.5 mg/m ³	短時間濃度基準値	—
物性等	分子量	209.24	構造式	
	融点	91°C		
	沸点	295.455±32.00°C (推定値)		
	密度	1.083±0.06 g/cm ³ (25°C、推定値)		
	飽和蒸気圧	9.86×10 ⁻⁶ mmHg (20°C)		
	飽和蒸気圧濃度	0.013 ppm		
	飽和蒸気圧濃度/濃度基準値	0.22		

SciFinder®: 厚生労働省, 職場のあんぜんサイト, GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報.

測定方法の一例

以下に示す測定方法は、文献調査等を基に作成された一例であり、利用に当たっては、使用者が事前に確認を行う必要がある。

測定方法	
ろ過捕集方法及び固体捕集方法—高速液体クロマトグラフ分析方法	
文献情報	
タイトル	ORGANONITROGEN PESTICIDES, Method No. 5601
著者	NIOSH
資料名	NIOSH Manual of Analytical Methods (NMAM), Fifth Edition
巻, 頁 (出版年)	Issue 2, - (2016)
備考	—
捕集	
サンプラー	OVS捕集管 (石英フィルターまたはガラスファイバーフィルター+XAD-2 (270 mg/140 mg))
捕集流量	0.1~1.0 L/min
捕集時間	—
採気量	60~480 L
分析	
前処理方法	抽出/脱着溶媒: 0.1Mトリエチルアミンリン酸緩衝液(TEA-PO ₄)含有(0.2%)アセトニトリル(2.0 mL) (内部標準物質: アセトアニリドおよびアセトフェノン) 操作: 振とう (45 min) 後、ろ過
分析方法	装置: 高速液体クロマトグラフ—紫外吸光度検出器 (HPLC-UV) カラム: C18 (30 cm×3.9 mm, 4 µm)

評価			
測定範囲	評価基準	1. 測定範囲が濃度基準値の1/10から2倍の範囲をカバーすること。	
	採気量	240 L	
	濃度範囲	0.05～1.00 mg/m ³	
	評価結果	○	
抽出/脱着率 又は添加回収率	評価基準	1. 濃度基準値の1/10の濃度で捕集剤からの脱着率や添加回収率が75%より良好であること。	
	濃度	0.05～1.00 mg/m ³	
	抽出/脱着率又は添加回収率	95.4%以上（保存安定性からの類推）	
	評価結果	○	
保存安定性	評価基準	1. 濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えること、または溶液試料としてその値を確保できることが推測されること。	
	濃度	0.05～1.00 mg/m ³	0.05～1.00 mg/m ³
	保存条件	24°C	-12°C
	保存日数	31日	31日
	保存率	91.4%	95.4%
	評価結果	濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えている。	
破過	評価基準	1. 濃度基準値の2倍の濃度で破過なく測定できる条件があること。	
	濃度	1.00 mg/m ³	
	採気量	480 L	
	破過の有無	無	
	評価結果	○	
備考	-		
測定上の注意点	<p>・プロポキスルや使用する試薬についてラベルやSDSを最初に確認し、作業のリスクに応じてドラフト、適切な保護具の使用等のばく露低減対策を講じる。</p> <p>・トリエチルアミン、りん酸、アセトニトリルは皮膚等障害化学物質であるため、作業手順に応じて適切な化学防護手袋を着用する。</p>		

その他の測定法

1.Propoxur (Baygon), Method No. PV2007, OSHA, Sampling and Analytical Methods (1987)

特別民間法人 中央労働災害防止協会

労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

令和7年3月